平成３０年度　第１回千葉市青少年センター運営審議会議事録

１ 日　時

平成３０年７月１０日（火）　１３：３０～１４：３０

２ 場　所

千葉市南部青少年センター ２階 会議室

３ 出席者

（委　員）

迎副会長、池田委員、坂本委員、西田委員、西村委員、清澤委員、
中村委員、遠藤委員

（事務局）

井谷所長、椎名所長補佐、川崎主任技師、田島課長補佐（生涯学習振興課）

４ 議　題

（１）平成２９年度事業報告について
（２）平成３０年度施設運営方針について
（３）平成３０年度事業について
（４）その他

５ 議事の概要

（１）副会長の選任について

副会長に迎委員が選任された。

（２）平成２９年度事業報告について

施設の利用状況、主催事業の実施内容等について説明し、承認された。

（３）平成３０年度施設運営方針について

施設運営方針を報告した。

（４）平成３０年度事業について

主催事業について報告した。

６ 会議経過

（１）副会長の選任について

４月１日より不在となっていた副会長に、迎委員が選任された。

（２）平成２９年度事業報告について

資料 P1～7 及びパワーポイントの資料を使い、井谷所長より平成２９年度の施設の利用状況、主催事業の実施状況等、川崎主任技師より施設の管理について説明した。

平成２９年度第２回審議会での階層別利用者数の中学生利用人数について訂正をした。

（迎副会長） 質問、意見等はあるか？

（遠藤委員） 録音室利用の稼働率が８割以上と増えていて、予約もなかなか難しい状況というが、どんな利用がされて増加に繋がっているのか。

（井谷所長） 録音室は防音となっており、ドラムもあり、ギター等さまざまな楽器の練習に対応できる。また、レッスン室は各室個人での練習が中心であるが、録音室は広くグループでの活動もできるので、そのような点が利用者の増加に繋がっていると思われる。

（西田委員） 主催事業のときめきサタディで小学生等に募集をした時に定員２０名に対して応募がオーバーしている時はなにか対応策はあるのか。

（井谷所長） 当センターの各講座は部屋の広さなどから２０人が妥当であるが、できるだけ多くの子供たちを受入れたいとの考えから、定員２０名に対し、講師と相談をしながら２４名から２５名の受講生を受け入れるように努力している。

サマーチャレンジは昨年まで１年生から３年生で２０人、４年生から６年生で２０人の定員で開催していたが、今年度は低学年・中学年・高学年の３グループに分け定員を増やし開催する。

（迎副会長） ２９年度事業報告について、承認される方は挙手を。

【全員一致で承認された。】

（迎副会長） 議題（２）平成３０年度施設運営方針（３）平成３０年度事業についてだが、これは報告となる。平成２９年度第２回の審議会において、承認を得ているので、今回新しい委員もいるので事務局より報告ということでお願いする。

（３）平成３０年度施設運営方針について
井谷所長より、資料 P8～9 により、施設運営方針について報告した。

（迎副会長）　意見質問はあるか。

（清澤委員）　いろいろな講座を開催しているが、講座の事業案内については、どのように広報しているのか。
（井谷所長）　毎月一日に発行される市政だよりが中心になる。市内各小中学校や近隣の小学校には各事業の講座案内のチラシを配付している。また、生涯学習センターで情報発信している雑誌「あでるは」、センターホームページ等で情報を発信し周知に努めている。

（迎副会長）　センターが建設されてからだいぶ年数が経過しているが耐震についてはどうか。
（井谷所長）　昭和４８年１１月の開設だが、耐震指標は高い。建物は古いがＩＳ値は高い。（０．８９）

（迎副会長）　平成３０年度運営方針について以上報告となる。

（４）平成３０年度事業について
井谷所長より、資料 P10～P11 を使い、平成３０年度の事業について説明した。

（迎副会長）　意見質問はあるか。

（中村委員）　昨年度と比べると講座数は増えているということで、子どもや青少年のための参加や学ぶ機会、また交流をもつ機会が増えるということで素晴らしいと思う。学校の子どもたちに知らせていきたいと思った。

（迎副会長）　平成３０年度事業について以上報告となる。

（４）その他
議事録の確定について、副会長に承認してもらうことを確認した。